



2016年1月4日

報道関係各位

東和薬品株式会社

年頭所感

2016年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

ジェネリック医薬品業界においては、昨年6月30日に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2015」における新たな数量シェア目標である「2017年央に70%以上、2018年度から2020年度末までの間のなるべく早い時期に80%以上とすること」により、ジェネリック医薬品の使用促進が加速的に進んでいくものと考えます。業界にとってこのような状況は大変ありがたいことであり、各社の対応が求められることとなります。

当社においては、ジェネリック医薬品の数量が急激に増加する環境下でも安定供給責任を果たすため、昨年5月に発表した中期経営計画では、岡山工場と山形工場それぞれの生産能力を50億錠へ増強し、大阪工場と合わせて125億錠体制を目指すこととしていましたが、山形工場の生産能力を65億錠に引き上げることで2018年度までに140億錠まで増強する計画に修正しました。

昨年3月にはグループ会社の大地化成において新たな原薬製造工場が稼働開始となり、当社向けに高い品質の原薬を安定的に供給する体制を構築中です。医薬品業界の環境変化は大きくなると考えますが、長期的な視点に立ち、慎重かつ果敢に設備投資をおこない、原薬の確保、製造から販売に至るまでの安定供給体制を強化するよう努めてまいります。

また製品開発においては、患者さまや医師、薬剤師の皆さまなど、さまざまな立場の方に選び続けていただける、飲みやすく扱いやすい製品づくりに取り組んでいます。売上が好調でも将来にわたって使い続けられると思われる製品であれば原薬から見直し、徹底的にこだわることで品質やコスト競争力などの製品総合力を高められると考えています。水なしでも飲めるOD錠（口腔内崩壊錠）の製剤技術である当社独自のRACTAB（ラクタブ）技術や、世界初のOD錠の割線を認識して、割線の位置に合わせた製品名印刷などを今後も製品づくりに活かし、付加価値の高い製品の開発に努めてまいります。

この数年来、日本国内のジェネリック医薬品の数量シェアが欧米並みの60~80%までになることを見据えて備えてきました。引き続き、東和薬品は安定供給、品質確保、情報提供の責務を高いレベルで果たし、患者さま、医師、薬剤師の皆さまの信頼に応えていきたいと考えております。本年も一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようどうぞよろしくお願いいたします。

代表取締役社長 吉田 逸郎

《会社概要》

- 社名 東和薬品株式会社
- 本社 〒571-8580 大阪府門真市新橋町2番11号
- 代表者名 代表取締役社長 吉田逸郎
- 事業内容 医療用医薬品（ジェネリック医薬品）の製造・販売
- 自社製品数 692品目（2015年12月現在）
- 従業員数 2,009名（2015年10月1日現在）

＜お問い合わせ先＞

東和薬品株式会社 広報室
〒571-8580 大阪府門真市新橋町2番11号
TEL: 06-6900-9102 / FAX: 06-6908-6060
E-mail: kouhou@towayakuhin.co.jp